

## 会 議 録

会議の名称	令和4年8月定例教育委員会		
開催日時	令和4年8月25日 13時39分開会 14時45分閉会		
開催場所	つくば市役所本庁舎2階 会議室203		
事務局	教育局教育総務課		
出席者	委員	教育長 森田 充 委員 倉田 廣之 委員 柳瀬 敬 委員 和泉 なおこ 委員 成島 美穂	
	委員以外の出席者	教育局長 吉沼 正美 教育局次長 飯泉 法男 教育局次長 久保田 靖彦 教育総務課長 笹本 昌伸 学務課長 下田 裕久 教育施設課長 鈴木 聡 健康教育課長 柳町 優子 学び推進課長 岡田 太郎 特別支援教育推進室長 中島 澄枝 総合教育研究所長 山田 聡 教育相談センター所長 久松 和則 生涯学習推進課長 澤頭 由紀子 文化財課長 石橋 充 中央図書館長 柴原 徹 中央図書館副館長 沼尻 祐一 市民部スポーツ施設整備室長 武笠 健一 教育局企画監 山岡 めぐみ 生涯学習推進課社会教育主事 渡邊 亮太	
公開・非公開	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
会議次第及び	1 開会 2 議事録承認		

議事	3 教育長の報告
	4 案件
	(1)議案第 30 号 令和 4 年度つくば市一般会計予算案（9 月補正）に同意することについて（非公開）
	(2)議案第 31 号 工事請負契約の締結に同意することについて（非公開）
	(3)議案第 32 号 職員の分限処分について（非公開）
	5 その他
6 閉会	

◎会議の概要

1 開会	
森田教育長	それでは、ただいまから令和 4 年 8 月の定例会を開催いたします。本日もお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。スムーズな進行に努めて参りますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
2 議事録の承認	
森田教育長	議事録の承認について、令和 4 年 7 月定例会会議事録を、委員の皆様には事前に確認していただいております。その後修正等がないようでしたら、議事録を承認することとしたいと思います。よろしいでしょうか。
委員一同	はい。
森田教育長	それでは、署名人を柳瀬委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。
3 教育長の報告	
森田教育長	次に教育長の報告です。まず、学び推進課関係です。8 月は夏休みを利用した教職員の研修がかなり多く開催されています。校内研修だけでなく、市内全体の研修も行われました。8 月上旬には、市教育研究会主催の研究発表会が行われまして、私も基調講演としてオンラインですべての教員向けに 90 分ほど話す時間を頂戴しました。「みんなが幸せになれる学校、今そして未来へ」というタイトルで、将来豊か

に生きる力を身に付け、かつ、今幸せを実感できる学校を作ろうということを中心にして、現在の日本の若者の意識の課題、それから不登校児童生徒の声等も盛り込みながら、自ら考え判断し行動できる人を育てようということ、そして、自分で決められるような学校を作ろうということ、自分が校長を務めた大曾根小学校等を例にしながら話をさせていただきました。そして、探究的な学びを増やそうということも例示をしながら話をさせていただきました。その後、分科会が教科ごとに行われましたけれども、51名の先生方が発表して、その成果や課題を共有できたと思っております。大変有意義な研修ができたと思っております。同じく8月上旬には、校長・教頭・教務主任による三者合同の研修会も行われ、教頭1名と教務主任1名からの研究発表があり、これらについても皆さんで議論をして良い点を共有したということで、これからの学校運営の参考になったのではないかと思います。

2つ目は、中学校総合体育大会の件です。以前に地区大会の話をしていただきましたが、8月中旬には全国大会が行われまして、男子110mハードルでは、竹園東中学校の9年生が全国で4位に入賞しました。優勝候補でもあったようなのでちょっと悔しいという面もあったようですけれども、4位入賞ということでした。その他は、柔道個人戦で春日学園義務教育学校の8年生がベスト16、学園の森義務教育学校の8年生女子は、1回戦は突破したものの2回戦で敗れてしまったというところです。団体で期待していた手代木中学校の男子ハンドボール部ですけれども、これも残念ながら初戦で敗退してしまったということで、1点差で本当に悔しい負けだったというところです。あと、谷田部東中学校9年生男子の柔道個人の部がこれから開催されるので、まだ残っているという状況です。

3つ目は、生涯学習関係で、つくばちびっこ博士についてです。科学教育に触れる、科学への関心を高めてもらって、夢と希望に満ちた未来を考える手がかりとするためのもので、平成19年から開催されているものです。今年度は、例年よりも1ヶ月期間を延長して、7月23日から9月いっぱいまでの開催としています。36つの研究機関が協力施設として開催しました。イベントの内容としては、参加対象者を、昨年度は新型コロナウイルスの関係でつくば市在住・在学の小中学生

に限定したのですが、今年度は従来通り全国の小中学生に戻して、新型コロナウイルス感染症の対策として、現地見学と動画配信の2つを組み合わせました。また、クイズを盛り込んで、クイズに正解しないといけないというような形式にしました。こういう状況の中、7月23日からの約1ヶ月で延べ28,000回の再生があったということで、大変関心を持って小中学生に利用いただいたと思っています。

4つ目は、これも生涯学習関係ですけれども、コミュニティ・スクールの導入関係です。コミュニティ・スクール事業については、吾妻学園をモデル校としてコミュニティ・スクール推進会議を開催して、いよいよ本格的な導入に向けて準備が進んでいるところです。今日、来年度にコミュニティ・スクール推進会議が導入される予定となっている8学園を対象にして、その概要と今後の準備等についての合同説明会を午前中に市民ホールとよさとで開催いたしました。学園ごとの情報交換、今後の準備に関する協議の時間も設けて、活発な議論が展開されていたようです。今後この8学園については、各学園でコミュニティ・スクール推進会議の立ち上げに向けた打合せが実施されていきますが、生涯学習推進課中心に適宜サポートをしながら進めていきたいと思っています。

最後になりますが、県洞峰公園の整備運営事業についてです。県の洞峰公園については、民間の資金とアイデアの活用により県の支出削減と公園の魅力向上を図ることを目的に、パークPFI事業が発表されたというところですが、その計画の中に、グランピング施設及びアルコールを提供する施設の整備が含まれていることもあり、公園利用者及び近隣住民の方から、自然環境や治安を心配する声が上がっています。そのような中、先日委員の皆さんにもご相談申し上げましたが、洞峰公園整備事業内容の適正化と協議会設置に関する要望書というものが提出されました。これについては、私たち教育委員会単独で何かを行うということは難しいということから、皆さんとも相談の上、動向を注視していくとともに、関係部署と連携していく旨を回答しました。今後いろいろな要望が上がってくるのではないかと思います。児童生徒の安全を第一に考え、今は整備計画の変更が計画されているわけですので、今後これが具体化されて、通学路をはじめ子供たちの教育環境に影響のある課題や茨城県に対して配慮して欲し

<p>委員一同</p> <p>森田教育長</p>	<p>い事項がある場合には、市長部局や関係部局とも相談しながら、対応について具体的に考えていければと思っております。その際にはまたご相談をさせていただきたいと思っております。私の報告は以上でございます。</p> <p>それでは今日の案件に入っていきます。議案としては3件あります。議案第30号及び31号は、議会案件のために非公開にしたいと思っております。それから、議案第32号については、職員の分限処分についてということで、人事案件のため非公開にしたいと思っております。そのため、今日の議案3件はすべて非公開という形にさせていただき、最後にその他のところを公開する形で、社会教育委員会議及び生涯学習審議会についての報告等を行うという形で進めたいと思っております。そのように進めてよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>はい、ありがとうございます。それでは順に進めていきたいと思っております。まず非公開案件から進めますので、傍聴人の方は一度退室をお願いいたします。</p>
<p>(2) 議案第31号 工事請負契約の締結に同意することについて (非公開)</p>	
<p>森田教育長</p> <p>武笠スポーツ施設整備室長</p> <p>森田教育長</p> <p>委員一同</p>	<p>それでは、順序が逆になりますけれども、議案の第31号から進めます。これは担当部局が市民部スポーツ施設整備室になりますので、こちらを先に進めさせていただきたいと思っております。では、市民部スポーツ施設整備室長、説明をお願いいたします。</p> <p>(議案に対する説明)</p> <p>(議案に対する質疑応答)</p> <p>他にはよろしいでしょうか。では、承認することにご異議はございませんか。</p> <p>異議なし。</p>

森田教育長	では承認することとさせていただきます。
(1) 議案第 30 号 令和 4 年度つくば市一般会計予算案（9 月補正）に同意することについて（非公開）	
森田教育長	続けて議案第 30 号に参りたいと思います。これについては補正予算関係ですので各課から説明をさせていただきたいと思います。
関係各課等の長	（議案に対する説明）  （議案に対する質疑応答）
森田教育長	はい、他にはございますか。では、承認することとしてよろしいでしょうか。
委員一同	はい。
森田教育長	では、承認させていただきます。
(3) 議案第 32 号 職員の分限処分について（非公開）	
森田教育長	それでは最後、議案第 32 号について、教育総務課、お願いします。
笹本教育総務課長	（議案に対する説明）  （議案に対する質疑応答）
森田教育長	他にはありますでしょうか。よろしいですか。では、承認することにご異議ございませんか。
委員一同	はい。
森田教育長	はい、ありがとうございます。では承認することとさせていただきます。以上で審議すべき議案はすべて終わりましたので、傍聴人いらっしゃいましたら入室させてください。

5 その他（生涯学習推進課：社会教育委員会議と生涯学習審議会の説明・報告）	
森田教育長	<p>それでは、次第の5、その他の方に進ませていただきます。その他については、まず生涯学習推進課の方から、前にも和泉委員の方から説明いただきたいというリクエストもありましたので、第1回つくば市社会教育委員会議と生涯学習審議会についての説明・報告をさせていただきますと思いますので、よろしくお願いします。</p>
澤頭生涯学習推進課長	<p>資料を2点ほど配布させていただいております。まず生涯学習審議会の資料をご用意いただければと思います。はじめに訂正をさせていただきますたく存じます。生涯学習審議会の資料におきまして、委員名簿がございます。12番の長橋委員の役職のところでございますが、先月お配りした資料においては、市PTA連絡協議会の監事ということで記載をしていましたが正しくはこちらに記載のとおり顧問ということになります。訂正させていただきますと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、まず先に行われました生涯学習審議会につきましてご説明いたします。先週の金曜日、8月19日に今年度第1回目の生涯学習審議会を開催いたしました。審議事項といたしまして、主に第3次つくば市生涯学習推進基本計画に係る昨年度の進捗状況と、今年度の事業計画についてご説明申し上げました。委員各位からのご質問やご意見等をいただきましたので、何点かご報告させていただきます。まず交流センターのWi-Fi環境が整っていないというご意見をいただきました。回答といたしまして、竹園、並木、荃崎の交流センターにつきましては、今年度中に整備を予定しており、先行導入する予定の3施設及び吾妻を除く13交流センター、そして、働く婦人の家につきましては整備のための設計委託業務を今年度中に実施予定しているところがございます。次に、進捗状況に対する評価について、評価の基準があってもよいのではないかとご質問をいただきました。回答といたしまして、現在は担当課の進捗管理や目標に対する自己評価となっており、統一された明確な基準はありません。委員のご指摘の通り客観的に判断できる統一的な基準を設けるため、今後工夫検討していきますとの回答をさせていただきました。次に、家庭教育学級に関し、負担感や義務感を感じる、やりたい講座ができないとの声を聞き</p>

たことがあるとのご質問をいただきました。回答といたしまして、学級生の趣味や興味に関する講座も大切ではございますが、親として、知識として知っておくべきことも大切であると考えており、家庭教育学級は学びの観点から開催していることをご理解いただきたいと回答をしております。最後に、コロナによって評価できないのは適切ではないのではないか、そもそもコロナを見据えて事業計画を立てるべきではないか、とのご質問をいただきました。回答といたしまして、コロナを予見できなかったのかとのご意見はご尤もであると認識しております。どのような状況に、どのように対応すべきかの基準もない中で、状況が見えづらい点はありましたが、今後考えていきたいと回答をさせていただいております。ただいま、ご報告させていただきましたご意見は一部のご意見でございます。このほかにも多くのご意見をいただきました。生涯学習に関しまして様々な分野の方から貴重なご意見をいただいたと思っております。改善すべき点は今後改善して参りまして、つくば市の生涯学習が市民とともにさらに充実していくように取り組んでいきたいと考えております。またこの審議会においてコミュニティ・スクールの概要についての説明もさせていただいております。生涯学習審議会の方は以上になります。

続きまして、社会教育委員会議をご説明させていただきたいと思っております。こちらは、今週の月曜日、8月22日に今年度第1回目の社会教育委員会議を開催いたしました。議事といたしましては、令和3年度の社会教育事業の実績報告についてご説明申し上げ、委員各位からのご質問やご意見等をいただきました。ここでもいただいたご意見等を何点かご報告させていただきます。まず地域交流センター講座について、市民のリクエストにこたえるためにどうしているかというご質問に対しましては、講座終了後にアンケートを実施しており声を聞くようにしていると回答させていただいております。次に、学校の部活動が地域に移行していく過程の中で、所属人数が多い大きな部活は移行できると思われるが、人数の少ない部活は教える者がおらず、消滅する可能性があるため、なくなることをないように対策を講じて欲しいとのご意見をいただきました。こちらにつきましては、学校の要望、部活動顧問の実態等によって、部活動指導員の確保と派遣を推進してまいりますと回答させていただいております。次に家庭教育学級につい



	<p>て、講座の内容や取り組み方針を決定する際に、担当の先生だけでは不十分である、校長や教頭など管理職への依頼が大切ではないかとのご意見をいただきました。こちらにつきましては、設立確認書や報告書を通じて学校側は、管理職に周知をしているところではございますが、今後は家庭教育学級の趣旨や目的を知っていただくため、校長会においても説明することを検討していきたいと回答させていただいております。次に、学校によって家庭教育学級の開催回数に差があることが気になるので、例えば最低3回開催するなどの基準があっても良いのではないかとのご意見がございました。こちらにつきましては、学校に差が生じないように社会教育指導員による働きかけを行っていくと回答させていただいております。次に、オンライン講座の開催などはありがたいが、チャット機能を活用するなどすれば、臨場感が増し、実際に参加しているような感覚も得られることから、一考願いたいのご意見をいただきました。こちらは、すぐには難しいかもしれませんが技術的には可能と思われるため、検討しますという回答をさせていただきます。最後に、先月の教育委員会で教育委員の皆様にご心配済みものになっておりますが、社会教育指導員の活動記録がよくまとまっているので学校にも配布しても良いのではないかとのご意見がございました。こちらにつきましては、より多くの人に社会教育指導員の活動を理解してもらえよう今後は周知に力を入れていくと回答させていただいております。</p>
森田教育長	<p>はい、ありがとうございます。盛り沢山であったかと思いますが、和泉委員、いかがですか。</p>
和泉委員	<p>はい、説明ありがとうございます。正直に言うと、やはりこの棲み分けがよくわからないと感じました。というのも、いま社会教育委員会会議の資料3「令和3年度社会教育事業の実績報告」を見ているのですが、表紙に書いてある中央図書館、文化芸術課、スポーツ振興課、生涯学習推進課という4つの課で行っている事業のみ検討したりする場なのですか。要は、社会教育委員も当然、この第3次生涯学習推進基本計画があつての事業だと思うので、連動させる必要が必ずあると思いますし、メンバーの中には2つの会議で被っている人もいますので、</p>

	<p>色々な意見を得られるというのはすごく素晴らしいことだと思いつつも、それぞれの役割が明確でないのと、これは両方ともただ集まって終わりになってないかなという懸念をすごく感じました。それぞれの専門性を活かす形で再編とかできるのか、そのあたりはどうお考えでしょうか。</p>
澤頭生涯学習推進課長	<p>他の自治体を見ますと、生涯学習審議会と社会教育委員会議を統合している市町村もあるようです。ただ、つくば市におきましては、そういった議論がまだない中で、今現在は模索している状況ということで回答とさせていただきたいと思います。</p>
和泉委員	<p>社会教育委員も、生涯学習審議会の資料としての、第3次生涯学習推進基本計画の様々な評価の資料とかは見てらっしゃいますか。</p>
澤頭生涯学習推進課長	<p>今は別個の会議体として開催しておりますので、お互いの資料を確認し合うというようなことは、現在はしておりません。ただ社会教育事業につきましては広く生涯学習事業の中の一部と考えられるかと思っておりますので、こちらの総合性につきましては今後検討していきたいと考えております。</p>
森田教育長	<p>そうですね、なかなか棲み分けと言っても難しいところもありますね。</p> <p>はい、柳瀬委員。</p>
柳瀬委員	<p>生涯学習推進計画が出来上がったときに、推進本部が設置されるということで、教育局長が推進本部長ということになっていたと思います。それで、これだけの守備範囲で生涯学習という横串が通るのかということを懸念したのですね。市長部局のもありますけれども、それぞれの事業について生涯学習という共通の意識を持って連携ができていくかということ、ほとんど連携がない状態なのですよ。じゃあどうしたらいいのかということ、生涯学習推進課は市民部から教育局に戻ってきたわけですから、何かをできれば良いのでしょうか、局長、何かできないですかね。</p>

吉沼教育局長	<p>最初に推進本部の話がありましたが、確かにその時点ではこういう心配はあまりしていなかったのですけれども、今のお話を聞いていく中で少し心配が私の中でも生まれてきたところなのです。先ほど澤頭生涯学習推進課長がお答えした通り、やはり生涯学習という大きなテリトリーの中に、社会教育という分野で個別に社会教育委員として活動している方々もいらっちゃって、全体をもってその生涯学習が、つくば市の生涯学習という観点で良くなっていくとか評価されていくのかなというところは、ちょっと皆さん大体イメージとしては同じようなイメージを持っているのかとは思いますが、社会教育審議会と生涯学習審議会という中でどういうふうに役割分担を持たせるかといったあたりは、これも澤頭生涯学習推進課長の答弁にあった通り、もう少し研究が必要かと考えているところです。まさにそういうことを、今後その推進本部の中で、もうちょっと議論していきたいと改めて痛感したところです。</p>
柳瀬委員	<p>すごく大変な事業というかどうしてもやらなくては、それから、やっぱりちょっと力を入れないとできない事業もあると思うのですね。これはもう少し知恵を絞って力を入れないとやらなくても済む事業になってしまうと思います。その連携などは非常に難しいと思うのですが、例えば、私が直接関わっている福祉というか、障害者の生涯学習みたいところで、チャレンジアートフェスティバルという形で展開したいところなのですが、どうしても福祉部の障害者の担当のところまで止まってしまっていて、せっかく社会福祉協議会が事業委託を受けているのだけれども、なかなかボランティアとかに展開していかないのですよ。なかなか1つの事業の内部だけで組み立てていると横の連携が難しいですね。毎年それを積み重ねていっても、正直言って新しい展開が全くないので、何かできないかなとは思いますが、私もその良い方法が見つからないのです。そういう課題が推進本部に上がってきたときに、そこから、もう少し芸術文化の方で協力できないか、とか、学校教育の方で協力できないか、みたいなことがあるといいなと思うのですけれども、恐らくこのままではなかなか突破口を開けないのではないかなと思います。</p>

吉沼教育局長	<p>同じようなことを少し考え始めていまして、生涯学習推進課長もその辺はここ最近私にもいろいろ相談をしてくれるのですが、やはりやりにくいというか、疑問なところをぶつけていただいています。今のお話にあった福祉の方でやっているチャレンジアート事業とか、市民部で行っている市民文化祭とか、やはり生涯学習という観点での切り口が少し抜けている、というと向こうの部に怒られますけれども、薄いような感じもするのです。そういったこともあって、生涯学習に関連する事業については、柳瀬委員がおっしゃるような横串を通せるように話し合ってみる機会は必要なかなと思っています。関係している部署で、どういうふうに今後進めていくのかといった辺りですね。そのためには、やはり生涯学習というのがキーになるというか、中心に据えなくちゃいけないものだと、個人的見解ですがけれども私はそういうふうに思っています。生涯学習を中心に据えて、市民部や福祉部で所管している事業等についての部分も含めて話し合ってみる機会は作りたいなとは思っているところでもあります。そういうふうな課題というのを、生涯学習推進課の方でもすでに持っているようなので、すべてを生涯学習推進課で所管してやるということではなくて、どの辺までやるべきなのか、あるいは、他部局でやっても生涯学習という観点もちゃんと酌み取って事業の中に入れてもらえるということであればその部署でやってもいいですし、そういった整理を少ししてみたいなとは思っています。</p>
柳瀬委員	<p>東京学芸大学の小林正幸さんは、私も筑波大学の時に一緒に勉強していた方なのですが、不登校支援の専門家なのです。その小林先生が、不登校だった子供たちが社会人になってどういう仕事をしたりとか、どういうふうになっていったかという調査研究をしているのです。それで、不登校の子供たちが学校を卒業して義務教育が終わった後に、どんな選択肢で生きていっているのかという調査した時に、生涯学習などといったところにちゃんとコミットできているかどうかがとても重要だということがありました。ソーシャルキャピタル、社会関係資本ということをおっしゃる先生も言っておられますけれども、そうしたときに、今は不登校支援についても一生懸命検討しています。</p>

	<p>が、生涯学習とも関連してくると思うのですよね。色々な学びのスタイルがあるよというのは生涯学習にもいえることで、どうも蝟壺になってしまって、障害者は障害者だから、というふうに限定するのではなくて、障害者も色々な生涯学習にも参加できるとか、そういうことについて、相当旗を振らないとみんな動かないと思うのですけれども、期待をしておりますので、どうかよろしく願いいたします。</p>
澤頭生涯学習推進課長	<p>ただいまの障害者の生涯学習関連事業について、すでに第3次の基本計画の中にも謳われていまして、今年度生涯学習推進課の方でも、他団体の協力を得ながら実現するような形で今進めておりまして、柳瀬委員がおっしゃいますように、生涯学習推進課だけではなく他の部局にも跨るところがございますので、そことの関連性ですとか、一体になってやるべき部分と個別に行っていくべき部分とを整理したいと考えて、こちらは計画通りに進めていきたいと考えております。</p>
森田教育長	<p>ありがとうございます。委員の皆様もこの辺の関心というのは非常に高い部分でもありますので、今後、今ありましたように検討しながら進めていければと思います。</p>
柳瀬委員	<p>事業報告書は学校には配るのですか。そういう要望があったのですか。</p>
澤頭生涯学習推進課長	<p>委員の方からそういったお言葉をいただきましたので、これから配布させていただく予定で考えております。</p>
柳瀬委員	<p>すごく積極的にやっているところもあるので、他のところからするとこれも参考になったりするかもしれませんね。</p>
森田教育長	<p>会議でもそういう話が出ていました。実際に、校長の関心がどれだけあるのかというのが非常に大きいのではないかとということもあったので、配った方がいいだろうということで、配りたいと思っています。</p> <p>成島委員、お願いします。</p>

成島委員	生涯学習という大きい枠組みの中に社会教育事業というものがあるという考え方で合っていますか。よくそこが分かっていないので教えていただきたいです。
澤頭生涯学習推進課長	成島委員のおっしゃるとおりでして、一番大きな枠組みが生涯学習という枠組みになるかと思えます。その中に学校教育があり、幼小中高と体系だった学習がございます。その他に社会教育があり、また、個別の個人学習があり、そういったものをすべて含めて大きく捉えたものが生涯学習といった概念になっているようです。
成島委員	すごく大きい枠組みなのですね。市民部の文化芸術課とか、ジオパークとか、学校教育にすごく関連深そうなところに対する提案というか、こうしたらどうだろうとか、そういうアイデアみたいなものってどういう形で市民は意見をすればいいのでしょうか。どこに意見をすればいいのかなというのが疑問です。また個人的な話になるのですが、特にジオパークというのはずっと疑問に思っていて、つくば市を地形から理解するとか、自然理解から地域愛や地元愛に繋がるとか、そういったものであれば小学生とかを対象にして事業を行うべきなのではしょうけれども、大人向けの研修しかしていないのかしらとか、生涯学習とは言いつつもうちょっと連携をとっていないのかなと感じます。あとは、市民文化祭は分かるのですが、せっかく美術館があるのに横の繋がりとしてつくば市内の学校の発表とか行われていたりはしないですね。私がつい最近牛久の方に関わっていることもあって、そちらでは市を挙げて市内の学生が美術に触れ合うみたいなこととか、色々な課が関わってやっていると聞いたので、つくば市はそういう横の繋がりはないのかなという疑問があります。
柳瀬委員	つくば美術館は県の施設なので、何かするなら市民ギャラリーの方に、ということになりますよね。まあそういうことも言ってもらえないとは思いますが。
澤頭生涯学習推	成島委員のご意見もご尤もだと思っております、生涯学習がより

進課長	<p>浸透していくためには網羅的にいろいろなネットワークが張り巡らされるべきなのだろうとは考えているのですけれども、そこがまだ不十分であるのだろうなというような認識は持っておりまして、それを今後どのように体系づけていくのかということで、どのようにして連絡調整をして構築していったらいいのかなという部分はこれから考えていきたいなと思っております。</p>
成島委員	<p>仮に予算を出してもらうには提案をしていかなきゃいけないわけなのですけれども、それはどこにすればいいのでしょうか。</p>
吉沼教育局長	<p>先ほど私もちょっとお話したと思うのですけれども、皆さん今思った通り、生涯学習はかなり広い分野に跨っていて、他部局でも生涯学習に関連するような事業はやっていまして、ジオパークを先ほどは例に挙げましたけれども、ジオパークについても子供たちと連携した事業なんか実際にやっているのですね、なかなかPRされていないのかもしれないけれども。生涯学習ということで、すべてを生涯学習推進課でお答えできればこれに越したことはないのですけれども、実際はそれぞれの担当課の方に生涯学習という観点で何か要望したりとか、こうしてやって欲しいというようなことが色々な場面であると思うのです。例えばジオパークであれば、やはり生涯学習推進課でお答えできれば本当はいいのでしょうけれども、なかなかそこまでは難しいので、まずはその担当しているところであるジオパークに、美術館であればまず美術館の方に問い合わせさせていただいて、できることならその際に、市の生涯学習推進課と連携してくださいねということをお願いいただければ、上手く色々なことが進んでいくのかなと思います。このことは、我々の方からもやらなくてはいけないことなので、これは先ほど申し上げた通り、なかなかやれていないので、関連している部門等の調整というところがまだうまく至っていないというところを認識しているので、その辺はちょっと少し、先ほどもお答えした通り、もうちょっと積極的に考えていきたいと思っています。</p>
柳瀬委員	<p>成島委員がおっしゃられた予算について、予算的背景がどこの枠があるかということ、あるものとしては、家庭教育学級、ちびっ子博士や</p>

森田教育長	<p>科学振興、出前授業ですか。生涯学習推進課ではその3つですよ。家庭教育学級なんかはもっと予算をきちんとかければ、もっと色々なことができるかもしれないということですね。あと出前授業についても、これも予算がついているのであれば、もっと増額すれば、もっと出前授業を出せるということもあると思うのですよね。成島委員、そんな感じで、それ以外の枠組みがあるかといったら、それは色々な他の部署の予算を使うということなので、なかなか意見も言いにくいところなのかなと思うのですよね。</p> <p>ありがとうございます。それぞれ今おっしゃられたところに課題意識を持っておりますのでね、これからその辺が充実するようにしていきたいなと思います。ご意見ありがとうございました。他にはよろしいでしょうか。それでは生涯学習関係の報告の方も終わらせていただきます。</p> <p>他に委員の皆様から何か次回までにこのようことを話したいなどということがありましたら承りますけれども、特に今のところよろしいですか。もしありましたらメールでも結構ですので、これからお寄せいただければと思います。では、以上をもちまして、8月の定例会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
-------	--

◎会議録の調製

調製年月日	令和4年(2022年)9月15日
調製者	吉沼 正美